

KEIKYU BUSINESS REPORT

第95期 第2四半期 連結累計期間報告

2015年4月1日～2015年9月30日

京浜急行電鉄株式会社 証券コード 9006

目次

トップメッセージ	2
連結決算ハイライト	3
京急グループが目指す将来像	5
株主プレミアムイベント	10
会社の概要	11



トップメッセージ



京浜急行電鉄株式会社
取締役社長

原田 一之

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
第95期 第2四半期連結累計期間(2015年4月1日から2015年9月30日まで)の事業の概況をまとめ、「KEIKYU BUSINESS REPORT」としてお届けします。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念が残ったものの、経済対策、金融政策の効果などを背景に、雇用や所得環境が改善し、緩やかな回復基調で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、長期ビジョン「品川・羽田を玄関口として、国内外の多くの人々が集う、豊かな沿線を目指す」に基づき、各事業を推進したほか、子会社の再編を行うなど経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、交通事業が好調に推移したものの、不動産事業において、前年同期に分譲土地などの売り上げを計上した反動減により、1,453億2千万円(前年同期比0.4%減)となりましたが、交通事業における費用の減少などにより、営業利益は169億5千9百万円(前年同期比17.9%増)、経常利益は149億6千3百万円(前年同期比27.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は97億1千6百万円(前年同期比37.9%増)となりました。

なお、当期の中間配当金につきましては、前期に引き続き1株につき3円とすることに決定いたしましたので、ご報告申し上げます。

今後も企業価値を高め、株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。株主の皆様には、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年11月

経営成績の概要

営業収益

1,453億円

(前年同期比 0.4%減)

営業利益

169億円

(前年同期比 17.9%増)

経常利益

149億円

(前年同期比 27.3%増)

親会社株主に帰属する

四半期純利益

97億円

(前年同期比 37.9%増)

セグメント別の概要

<p>交通事業</p>	<p>営業収益 603億円 (前年同期比 1.7%増)</p> <p>営業利益 119億円 (前年同期比 18.3%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄道事業では、羽田空港国際線の発着枠拡大に伴う航空旅客の増加などにより、羽田空港輸送が増加しました。また、引き続き安全対策を最重要課題とし、京急鶴見駅および上大岡駅構内の高架橋耐震補強工事等を進めたほか、大師線で地下化工事を推進しました。 ●乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)は、都市高速道路中央環状品川線の開通を機に、羽田空港アクセス路線で運行経路の変更およびダイヤ改正を実施するなど、利便性の向上に努めました。また、羽田空港の深夜早期アクセスバスで、川崎方面の路線を新設するなど、鉄道が運行していない時間帯の羽田空港アクセスの向上に努めました。
<p>不動産事業</p>	<p>営業収益 119億円 (前年同期比 11.9%減)</p> <p>営業利益 2億円 (前年同期比 53.8%減)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●不動産販売業では、港町駅前の分譲マンション「リヴァリエC棟」のほか、「オーベルグ ランディオ横浜鶴見 プリーズテラス」、「プライム横浜屏風浦」などを販売しました。 ●不動産賃貸業では、交通結節点として重要性が高まる品川駅前に立地するオフィスビルなどで、高稼働率の維持に努めました。また、京急開発(株)は、羽田空港等に好アクセスな立地を生かした「平和島物流センタ」が好調に推移しました。 ●前年同期に分譲土地などの売り上げを計上した反動減により、減収減益となりました。
<p>レジャー・サービス事業</p>	<p>営業収益 210億円 (前年同期比 1.1%増)</p> <p>営業利益 28億円 (前年同期比 18.9%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAは、国内外のエージェントセールスを強化したことなどにより、旺盛な訪日旅客および国内需要を取り込み好調に稼働し、客室単価も上昇しました。また、京急EXインは、「京急EXイン 品川駅前」をはじめ各館が高稼働率を維持し、客室単価も上昇しました。 ●レジャー施設業では、京急開発(株)は、「天然温泉 平和島」の海外へのPRを強化し、団体客の獲得に努めたことなどにより、好調に推移しました。
<p>流通事業</p>	<p>営業収益 506億円 (前年同期比 2.3%増)</p> <p>営業利益 11億円 (前年同期比 49.6%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●百貨店業では、(株)京急百貨店は、上大岡駅の耐震補強工事に伴い、地下1階の食品売場の一部を休業し、リニューアル工事に着手しました。 ●ストア業では、(株)京急ストアは、リニューアルオープンした「ウィング高輪 EAST」が順調に推移しました。 ●物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、セブン-イレブン・ジャパンと業務提携した駅構内や駅前の店舗が好調に推移しました。
<p>その他</p>	<p>営業収益 188億円 (前年同期比 8.5%減)</p> <p>営業利益 7億円 (前年同期比 37.2%増)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●京急建設(株)は、鉄道の安全対策工事を進めたほか、公共施設の建設工事等を行いました。また、(株)京急ファインテックは、引き続き鉄道車両修繕工事等を行いました。 ●当社は、住まいに関する様々なニーズに対応するため、子会社のマンション管理事業およびリフォーム事業を統合し、(株)京急リブコを設立しました。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

	当第2四半期	前期末
資産合計	1,048,452	1,069,923
負債合計	794,113	817,578
純資産合計	254,339	252,344

●資産の部

現金及び預金の減少などにより、1兆484億円(前期末比214億円減)となりました。

●負債の部

長期前受工事負担金の増加はありましたが、支払手形及び買掛金や有利子負債の減少などにより、7,941億円(前期末比234億円減)となりました。

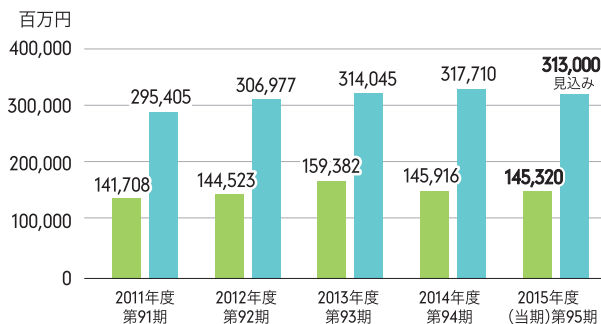
●純資産の部

剰余金の配当などによる減少はありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、2,543億円(前期末比19億円増)となりました。

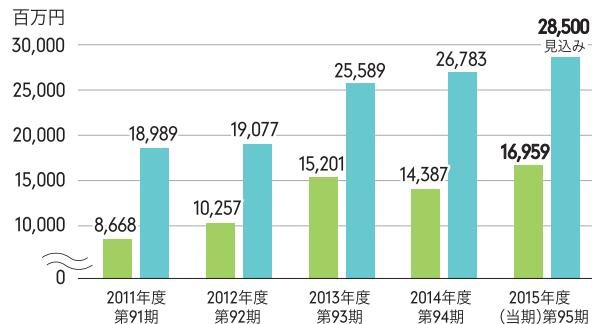
業績等の推移

■ 第2四半期(累計) ■ 通期

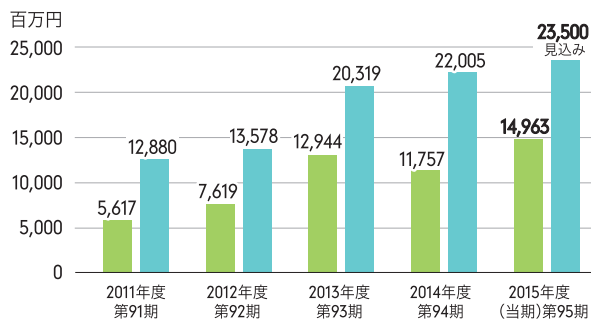
営業収益



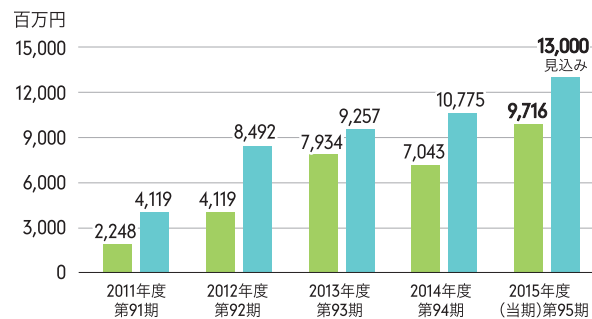
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



長期ビジョン

「品川・羽田を玄関口として、 国内外の多くの人々が集う、 豊かな沿線を目指す」

京急グループは、目指す将来像を長期ビジョンとし、長期ビジョンに基づく取り組み方針を5つの柱として掲げています。これは、交通結節点として発展が期待される品川地区、および首都圏における重要性がますます高まる羽田空港を玄関口として、沿線に広く相乗効果を波及させる事業を展開し、豊かな沿線にしていこう、というものです。

長期ビジョンの実現に向けた5つの柱

- 品川駅周辺の開発事業の推進
- 品川・羽田空港の持つ高いポテンシャルの活用
- 安全・安心なサービス・商品の提供
- 豊かで住みやすい沿線づくり
- 新規事業の展開

上記の長期ビジョンの実現に向けた5つの柱のうち、将来像に向けた具体的な取り組みとして、「品川・羽田空港の持つ高いポテンシャルの活用」、「品川駅周辺の開発事業の推進」、「豊かで住みやすい沿線づくり」の3つの柱についてご報告します。





1

品川・羽田空港の 持つ高い ポテンシャルの活用

2014年度の羽田空港利用者数は7,400万人(世界第4位、国内第1位)を超えました。京急グループは、羽田空港を最重要戦略拠点と位置付けており、今後も、お客様の動向にあわせ、鉄道、バスのダイヤの見直しを随時検討し、羽田空港アクセスのさらなる向上を図っていきます。

京急グループは、品川・羽田空港の持つ高いポテンシャルを活用した事業展開を推進することで、沿線に根差した各事業に広く相乗効果を波及させ、沿線全域のさらなる価値の向上に努めていきます。

羽田空港国際線ターミナル駅のご利用者数が好調に推移

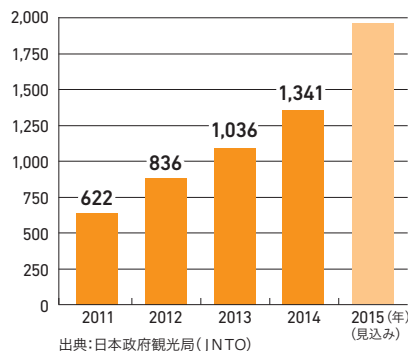
2015年の訪日旅客数は、円安、政府によるビザ発給要件緩和、免税制度の対象拡大等により、前年の1,341万人を大きく上回る2,000万人に到達する勢いで推移しています。この追い風を受け、2015年度第2四半期までの羽田空港国際線ターミナル駅の乗降人員は、前年同期比で7.9%増加と好調に推移しました。

また、羽田空港国際線ターミナル駅にある京急ツーリストインフォメーションセンターを利用する訪日旅客数も、前年同期比で18.9%増加しており、なかでも欧米の利用者数が増えています。

さらに、2015年10月には、羽田空港と中国各地を結ぶ国際線が6年ぶりに増便され、羽田空港発の国際線は5年で倍増、1日100便を超えました。

今後も、京急グループでは、ますますの需要拡大が見込まれる羽田空港の輸送力を確保するとともに、様々なサービスの向上に取り組み、「羽田空港といえば京急」と言ってもらえるよう、積極的に事業を展開していきます。

訪日旅客推移 (単位: 万人)



羽田空港深夜早朝アクセスバス 運行本数増便

2015年8月に、LCC(格安航空会社)各社が羽田空港発着の深夜早朝時間帯の航空便を就航したことなどにより、深夜早朝時間帯の羽田空港利用者が増加しています。

この状況を受け、京浜急行バス(株)では、2015年10月に羽田空港から各地を結ぶ深夜早朝アクセスバスを増便し、深夜早朝時間帯の羽田空港利用者の利便性向上を図りました。

今後も、電車が運行していない時間帯の羽田空港アクセスも強化することで、深夜早朝時間帯の羽田空港利用者の利便性向上を図っていきます。

運行期間 10月25日(日)～3月31日(木)

羽田空港深夜早朝アクセスバス 運行本数増便

平成27年10月25日(日) タイプ改正

- 1 浅草・秋葉原・東京駅・銀座
- 2 池袋・新宿
- 3 二子玉川・渋谷・六本木
- 4 品川・お台場
- 5 みなとみらい・桜木町・横浜駅(YCAT)
- 6 川崎・蒲田・大鳥居
- 7 一之江・葛西・東陽町・豊洲・有明

早朝便 4時～4時45分
深夜便 23時～23時45分

羽田空港 早朝・深夜便

京急バス 羽田空港

京浜急行バス(株) 京急バス

»京急グループ インバウンドの取り組み

▶羽田空港国際線ターミナル駅「ウィングエアポート羽田」オープン

京急グループは、羽田空港の国際化および京急線羽田空港国際線ターミナル駅開業5周年となる2015年10月に、駅ナカ商業ゾーンを、「ウィングエアポート羽田」としてリニューアルオープンしました。新たに免税サービス実施店舗として訪日旅客に圧倒的な知名度がある「ラオックス」、「マツモトキヨシ」を誘致し、既存店の「セブン-イレブン」とあわせて免税ゾーンを展開します。「ウィングエアポート羽田」では、“帰国直前までショッピング”をコンセプトに上記の免税サービス実施店舗に加え、WiFiレンタル「グローバルWiFi」、外貨両替サービス「トラベレックス」、「セブン銀行ATM」等の既存店も含めて、訪日旅客を中心に、空港という立地を生かした利便性の高いサービスの提供を目指していきます。

京急グループでは、今後も、訪日旅客に向けたサービスを強化し、日本の玄関口である羽田空港のアクセスを担う企業としてふさわしいサービスを実現していきます。



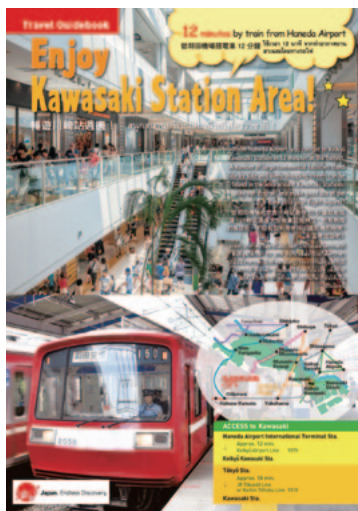
▶京急川崎“駅”周辺の魅力をPR!

「Enjoy Kawasaki Station Area! Travel Guidebook」発行

川崎市、川崎産業観光振興協議会と共同で、羽田空港から乗り換えなしで行ける、京急川崎“駅”周辺の見どころ、食べどころ、楽しみどころをPRするために、英語、中国語、タイ語に対応したガイドブックを発行しました。

これは、近年、増加傾向にある羽田空港を利用する訪日旅客を対象とした、トランジットの空き時間の有効活用に最適な案内ツールとなっており、新たな沿線の交流人口の創出および京急線の利用促進を図るものです。

今後も訪日旅客に向けた様々な情報やサービスを提供することで、京急線の利用促進を図っていきます。



▶天然温泉 平和島

LCC機内でのお得パックの発売

羽田空港から車で約15分の至近距離にある「天然温泉 平和島」では、羽田空港の深夜早朝時間帯の航空便の発着にあわせた無料送迎バス付プランの販売数が好調に推移しています。

2015年10月には、羽田空港に就航しているLCC「香港エクスプレス」の機内で「天然温泉 平和島 深夜パック」の販売を開始しました。

京急グループでは、今後も、外国人向けのサービスを増やし、訪日旅客の取り込みに努めていきます。





2

品川駅周辺の 開発事業の推進

品川地区は、交通結節点として重要性が高まり、これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点として新たなまちづくりが期待されています。

2014年9月に、東京都が策定した「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」には、当社品川駅の地平化・2面4線化による利便性の向上や品川第一踏切道を含む3か所の踏切解消等による安全性の向上、交通結節点としての利便性を生かした業務・商業・居住等の多様な都市機能の集積によるまちづくりなどが掲げられています。当社もこれらの早期実現に向け、関係各所とともに鋭意検討を進めています。

» これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点・品川

京急グループは、品川地区に約6万㎡の土地を保有しており、「品川駅」や「SHINAGAWA GOOS」をはじめ、駅・ホテル・オフィス・商業施設など、様々な事業を展開しています。

京急グループでは、品川駅周辺の開発を、次の100年を見据えた事業ととらえ、品川地区の発展を沿線全域の活性化につなげていきたいと考えています。

2015年6月には、鉄道と開発両部門が一体となった品川開発の専門部署「品川開発推進室」を発足させ、スピード感を持って事業を進められる体制を整えました。今後は、品川駅周辺の土地の有効活用を含め、利便性、集客性を生かした国際的企業の進出を目指したビジネス環境の整備などを関係各所と協議し、駅・開発一体型のまちづくりを目指していきます。



「品川駅・田町駅周辺まちづくりガイドライン2014」から当社作成
赤枠が京急グループの取り組み

① 京急品川駅の地平化 (2面4線)

品川駅は、利用客の利便性向上を図るため、現在高架上にある2面3線のホームをJRと同じレベルに配置し、あわせて2面4線化による空港アクセスの向上等を検討しています。品川駅を地平化し、東口から東西自由通路を延伸させることで、国道15号を超えて西口地区と繋ぐ、歩行者ネットワークを構築することが可能となるなど、乗り換えの利便性や安全性が向上した魅力的な駅への再編を検討しています。

② 品川第一踏切道を含む 3か所の踏切解消

品川駅の南方に位置する品川第一踏切道を含む3か所の踏切は、現在京急本線で都内に残る最後の踏切です。鉄道輸送の安全性の向上を図るだけでなく、品川駅南側の道路交通を円滑にして地域の東西連絡性を強化・改善させるべく、この踏切の解消を検討しています。

③ 品川駅周辺開発

品川駅西口地区においては、高度利用を促進し、大規模な複合施設の開発を検討しており、オフィス・商業・住宅・交流・観光など、様々な魅力を持ったエリア開発を推進していきます。

また、品川駅の駅再編に合わせ、駅直結の利便性を生かした駅ビル開発も検討しています。



3

豊かで
住みやすい
沿線づくり

京急グループは、引き続き沿線価値のさらなる向上に努め、沿線の定住人口、交流人口の増大に向けた取り組みを推進していきます。

» 「ウィングキッチン京急蒲田」グランドオープン

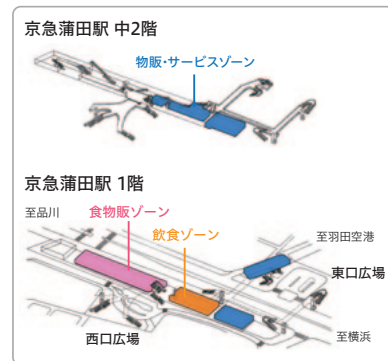
京急蒲田駅付近連続立体交差事業により新たに創出された鉄道高架下を活用し、京急蒲田駅直結の商業施設「ウィングキッチン京急蒲田」を、2015年12月に開業します。

「ウィングキッチン京急蒲田」は、京急ストアを中心とした「食物販ゾーン」、女性や家族も安心して利用できる「飲食ゾーン」、蒲田エリアでは初出店となるファッション店舗のほか、コンビニや書店などからなる「物販・サービスゾーン」から構成され、最寄り駅にあるとうれしい、毎日でも立ち寄れる、普段使いの商業施設を目指しています。

今後も、羽田空港、品川に至近という立地特性を生かした開発・利用を京急蒲田駅周辺の高架下でも検討し、羽田空港の玄関口、そして大田区の顔として、2020年東京オリンピックに向けた、さらなる活気のあるまちづくりを進めていきます。



中2階物販・サービスゾーンのイメージパース



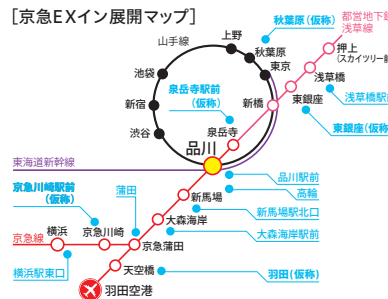
ウィングキッチン京急蒲田 立体イメージ図

» 既存資産の有効活用 「京急EXイン」2,700室体制に

京急グループは、現在7館1,760室体制で運営しているビジネスホテル「京急EXイン」の事業拡大を図るため、2015年度に秋葉原駅、2016年度に東銀座駅・泉岳寺駅・京急川崎駅、2017年度には天空橋駅に、新たな店舗を開業し、全12館2,700室体制で、増加する訪日旅客、羽田空港利用者の需要を取り込んでいきます。

天空橋駅にオープンする「京急EXイン 羽田(仮称)」については、京浜急行バス(株)が車庫として利用している土地に、既存のバス事業の機能を維持しつつビジネスホテルを建設することで、土地の有効活用を実現します。

京急グループでは、今後も、既存資産の有効活用を進め、「豊かで住みやすい沿線づくり」を推進していきます。



京急EXイン 羽田(仮称)イメージパース

株主プレミアムイベント

世界とつながる駅の魅力を知る

羽田空港国際線ターミナル駅見学ツアー

- ◆開催日時
2016年2月15日(月)
13時~15時
- ◆募集人員
15組30名様
- ◆応募締切
2016年1月15日(金)消印有効
- ◆当選者へのご案内
2016年1月25日(月)発送予定



安全運行の秘密に迫る

保守作業の現場見学ツアー

- ◆開催日時
2016年2月25日(木)
14時~16時
- ◆募集人員
10組20名様
- ◆応募締切
2016年1月29日(金)消印有効
- ◆当選者へのご案内
2016年2月4日(木)発送予定



イベント参加申し込み方法



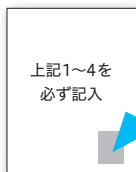
応募資格 2015年9月30日現在 株主の方 **応募方法** はがき・WEB

はがきで応募される方

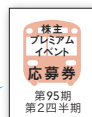
本誌裏表紙の応募券を貼り、
以下の事項をすべてご記入のうえご応募ください。

- 1.参加希望コース名
- 2.株主様の氏名、年齢、郵便番号、住所、電話番号、株主番号
- 3.同伴者の氏名、年齢、株主様とのご関係
- 4.(同伴者が同居以外の場合のみ)
同伴者の郵便番号、住所、電話番号

はがき



応募券



本誌裏表紙に
あります

送付先

〒108-8625
京急電鉄
株主プレミアム
イベント事務局

WEBで応募される方

- 1.「京急電鉄IR」でWEB検索します。
- 2.京急電鉄ホームページの「IR情報」にアクセスします。
- 3.応募ページに進んでいただき、ログインパスワード「9006」を入力してご応募ください。

ご注意

- ・お申し込みは、お一人様につき一回限りです。
- ・同伴者は株主の方でなくても結構です。
- ・いずれのコースも現地集合・現地解散となります。
- ・参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただきます。
- ・諸般の事情から内容を変更または中止させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・応募多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。
なお、当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。
- ・ご応募に際していただいた情報は、本イベントに関して必要な範囲でのみ利用いたします。

会社情報

- 商号 京浜急行電鉄株式会社
(証券コード 9006)
Keikyu Corporation

- 本社所在地 〒108-8625
東京都港区高輪2丁目20番20号

- 設立 1898年2月25日
(前身の大師電気鉄道の設立)
1948年6月1日
(京浜急行電鉄の設立)

- グループ会社 63社 (当社を含む)

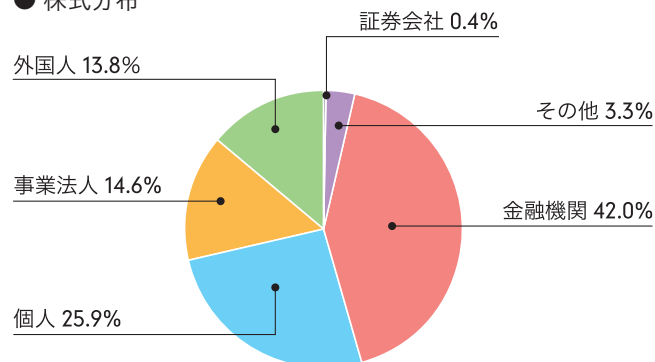
- 従業員数 9,038名 (うち当社1,796名)

役員 (2015年6月26日現在)

取締役会長 (代表取締役)	石渡 恒夫
取締役社長 (代表取締役)	原田 一之
専務取締役	田中 伸介
専務取締役	小倉 俊幸
常務取締役	道平 隆
取締役	武田 嘉和
取締役	佐々木 謙二
取締役	廣川 雄一郎
取締役	柴崎 昭嘉
取締役	本多 利明
取締役	平位 武了
取締役	上野 賢介
取締役	大賀 祥夫
取締役	浦辺 和夫
取締役	渡辺 静義
常勤監査役	猿田 明里
常勤監査役	國生 伸夫
監査役	濱田 邦夫
監査役	友永 道子

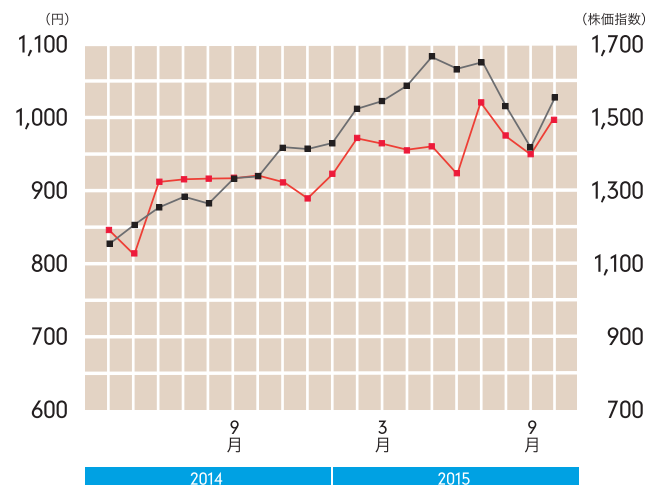
株式の情報

- 資本金 43,738,735,119円
- 株式数 551,521,094株 ※自己株式を含む
- 株主数 24,233名
- 株式分布



● 株価 (月終値) の推移

■ 当社株価：左メモリ ■ TOPIX (東証株価指数)：右メモリ



株主優待のご案内(年2回)

グループ施設株主優待券のほか、株式数に応じて優待乗車証等が選択できる株主優待制度を設けています。

1,000株以上ご所有のすべての株主様

■ 京急グループ施設株主優待割引券

〈主な割引施設〉

京急グループのホテル、京急百貨店、京急ストア、
葉山マリーナ、羽田空港駅構内対象店舗ほか

3,000株以上30,000株未満ご所有の株主様

■ 5,000株以上ご所有の場合

電車・バス全線きっぷもしくは京急EXイン宿泊券の **いずれか1つ選択**

ご所有株式数	電車・バス 全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)
3,000～ 5,000株未満	6枚	—
5,000～10,000株未満	15枚	1枚
10,000～20,000株未満	30枚	2枚
20,000～30,000株未満	60枚	4枚

30,000株以上ご所有の株主様

いずれか1つ選択 + 電車・バス全線きっぷ15枚

さらに3年以上
継続の場合

+ 電車・バス全線きっぷ15枚

ご所有株式数	電車全線バス	バス全線バス	電車・バス 全線きっぷ	京急EXイン 無料宿泊券(シングル)	ホテル グランパシフィック LE DAIBA 無料宿泊券(ツイン)
30,000～45,000株未満	1枚	—	90枚	6枚	2枚
45,000～60,000株未満	1枚	1枚	135枚	6枚	2枚
60,000株以上	電車・バス共通全線バス 1枚		180枚	6枚	2枚

※電車・バス全線きっぷは、当社電車全線および京急グループ(京浜急行バスグループ、川崎鶴見臨港バス)の一般路線バス全線にご乗車いただけます。
※株主優待の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

株式に関する『マイナンバー制度』のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。
このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

【マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先】

- 証券口座にて株式を管理されている株主様……………お取引の証券会社までお問い合わせください。
- 証券会社とのお取引がない株主様……………下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031

■ 単元未満株式の買取・買増制度、 特別口座に関するお問い合わせは

株主名簿管理人・特別口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号

〈営業時間〉平日 9:00～17:00

☎ 0120-782-031

■ 当社株主優待等に関するお問い合わせは



京急ご案内センター

〈営業時間〉平日 7:30～21:00
土・日・祝日 9:00～17:00

※営業時間は変更となる場合がございます。

ハロー・ハロー
03-5789-8686

または 045-441-0999



第95期
第2四半期

※この冊子に掲載のイラスト・写真の無断転載を禁じます。



KEIKYU
京急電鉄